

蛭の幼虫を探すも…見つからず。でもカワニナ発見！

数百ものゲンジボタルが飛びかう鬼谷川流域。実は和良蛭を守る会では、幼虫がどこで生まれ、どこでさなぎになるかなど、蛭の具体的な生息場所を突き止められておりません。過去何度も幼虫を探しましたが、結果は実らず。今度こそ！という熱い思いで、和良川を守る会とタッグを組み、観察地付近のボタルの幼虫探しとカワニナの生息調査を行いました。

活動の紹介

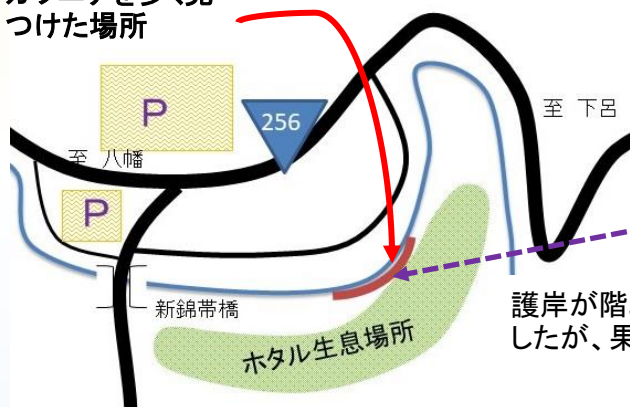
<蛭の幼虫探し 3月7日（日）>

流れの緩やかなところや川の浅瀬を中心に、石の下や砂の中など蛭の幼虫を探しました。しかし、カワニナは見つけることができましたが、今回も幼虫は見つけることができませんでした。カワニナは下の地図において、赤く示した場所に多く生息していました。生息していた場所の付近の護岸は階段状になっていました。護岸が関係しているのか、今後調べてみると新たな発見があるかもしれません。



▲砂の中をよく探して…。幼虫は見つかるか？

カワニナを多く見つけた場所



護岸が階段状になっていましたが、果たして影響は…？



▲見つけたカワニナ

令和3年度の観察地について～感染症予防と道路工事～

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続き、終息の見通しが不透明な状態が続きます。屋外であれば空気がこもることなく、安全と言われている一方、他地域では屋外にて感染が確認された事例があるようで、和良蛭を守る会としても大変心配しております。昨年度は多くの皆様に自粛にご協力いただきました。様々な方々と協議し、下記の方針で令和3年度の活動、対応をしていきたいと考えております。

また、観察地付近の道路で工事が行われています。交通安全に配慮をお願いします。

新型コロナウイルスの影響

- 感染症予防の観点から、案内所は設置せず、シャトルバスは運行しません。
- 厚生労働省、各自治体の感染症予防ガイドラインに沿った行動をお願いします。（昼夜問わず不要不急の外出の自粛が求められている地域もあるほか、マスクの着用、手指消毒など、感染症を予防する行動が励行されています。）

交通安全への配慮

- 観察地付近を車両で通行する際は、歩行者等に注意して通行してください。
- 路上駐車は近隣住民の迷惑になるほか、危険防止のため、絶対にしないでください。観察者用の駐車場をご利用ください。（駐車台数に限りがあります。ご注意ください。）